

上越ケーブルビジョン

平成24年度 第1回番組審議会

日時：平成24年9月3日（月） 17:00～

会場：JCV 2階 会議室

■出席者：(審議委員)

委員長：戸北凱惟氏（上越教育大学 理事）

委員：中川周一氏（元上越市副市長）、星野明光氏（経営者）、小山和美氏（経営者）、
川辺康弘氏（上越商工会議所）、田中百合子氏（上越市教育センター）、
(JCV)

丸田健一（常務取締役業務本部長）、植木 悦（取締役事業部長）

山岸 潤（業務本部 放送部長）

■議事

①上越地域 上越地域 夏まつりの放送実施について

- (生中継)
- ・上越まつり 高田民踊流し；7月26日 18:30～、19:30～
つばめステーション内で本町通りから生中継
 - ・上越まつり おせん米奉納；7月29日（日）18:50～22:30
 - ・謙信公祭 戦国サミット in 越後上越；8月25日（土）10:30～12:00（111ch）
12:00～18:30（112ch）
 - ・謙信公祭 出陣行列；8月26日（日）16:00～17:00
 - ・謙信公祭 川中島合戦の再現；8月26日（日）18:00～20:00

(録画放送) 夏休みスペシャル枠（2時間； JCV スペシャル+土・日の夜放送、1週間リピート）

- ・上越まつり スクールバンド 7月31日（火）～
- ・上越まつり 高田民踊&ダンス 8月7日（火）～
- ・上越まつり おせん米奉納 8月14日（火）～
- ・あらいまつり 8月21日（火）～
- ・謙信公祭～毘～ 9月4日（火）～
- ・謙信公祭～龍～ 9月11日（火）～

【番組の感想・意見】

- 子どものころは、おせん米に参加し笛を吹いていた。そのため社殿の中で米俵が奉納されているよ

うすを知らず、TVを興味深く見ていた。大人になってからは、同級生、親戚が参加し、親族が録画してまで見た。

- 謙信公祭は、子どもがマーチングに参加したので現地を見て、後日、TVでも見た。ふだんはあまりコミチャンを見ないが、この時期はよく見る。
- 「Rikka」は若い子目線の番組づくりがよかった。店に行ってみたくなった。
- 「Rikka」は高校生のセンスもいい。そういう感覚を育成したら、モノになるのでは。

【SNSの取り組みの感想・意見】

- 夏の特別番組多い中で、視聴者のコメントが出てくる新しい試みはいいと思う。
- こういうことをやっていけば参加してもらえる、そして見てもらえる。続けるべき。
- 自分と同じ感想がコメントで出てくると、そういう人もいるんだなと感ずることができてよかった。
- 自分の投稿コメントが表示されると参加している感じがある。若い世代も番組に投稿に参加していることがわかり、よかった。
- 参加感を高める取り組みいいと思う。

【番組・SNSに関する質問】

- SNSのコメントの表示はJCVで調整しているか
⇒ 誤字、脱字はチェックしている。放送上好ましくない表現、記号が並んでいて、意味が判別できないものは放送しないように選定した。
- SNS送出の作業大変なのか
⇒ パソコン上ですべてやるが、謙信公祭の11時台の30件は、内容を確認する作業が忙しかった。それ以外は時間に追われることはなかった。2人で作業していたが、もう1人いたほうが、確認作業も安全に進められるのではないか。
- 見ている若い世代が参加しようとする意識が出てきている
⇒ 全国放送だからできると思っていたが、予想に反してメッセージがきた。10代、20代といえばケーブルTVと距離があると感じていたが、その世代からそこそこ投稿があったのはひとつの驚きだった。
- ケーブルテレビで中継すると、実際にまつりに来る人間が減るか増えるか。分析した事はあるか？
⇒ 分析まではない。おせん米でいえば、関係者から「祭りに行く人が減っているのではないか」とかつて言われた。参加している人は祭りの流れを見ることができない。高齢者は家で見ることができる。JCVとしては、いろんな要素の中で、祭りを見てもらいたいと放送している。
- おせん米で、主催者にインタビューしたことはないか
⇒ 昔は番組内で、アナウンサーとの掛け合いを通じて各町内の代表に町内自慢をしてもらった。ところが、毎年、町内自慢をする人の選出が難しくなり止めた経緯がある。その代わりとして、事前の練習や青年会長のインタビューを番組で放送している。

子どもが映っていないと毎回、お叱りを受けるので、なるべく練習風景で子どもが映っているところを収録して、放送するようにしている。

②新番組「TownTopics～JoetsuNOW～」(英語情報番組)について

番組尺： 15分
放送日： 日曜～土曜日
放送時間： 日曜 17:15、23:30、月～土曜 7:30～、22:00～、他
番組構成： 最近の上越地域の話(つばめステーションで放送したニュースから3本抜粋)
地域の大きな動き、伝統・文化など
イベント・映画情報(MJいんふおめーしょんで放送した内容から抜粋)
塚田こども医院の感染症情報
その他、外国人向けの行政情報等
進行： ブレント ミリス(英会話教室エイブル インストラクター)

【感想】

- ふだん英語になじめない人は、身近な出来事を英語で放送することで親しくなれるきっかけになる。
- わかる日本語が出てくると反応する。

【意見・質問】

- いずれは毎日更新する放送になるか。
⇒今のところ難しい。
- いずれ英語のテロップは出るのか。アナウンサーのナレーションに合わせてテロップの色が変わっていくと、英語の勉強になる。
⇒現在のスタッフでは、テロップを出すタイミングが、日本語と違って難しい。カラオケのようにテロップの色が変わるのは現状ではできない。今できることは、ホームページに動画を掲載し、英語と日本語の原稿を同時に掲載することができないかと考えている。原稿を見ながら映像を見てもらえるとわかりやすいと思う。
- 外国人向けでありながら、日本人向けにもするのであれば、日本語のテロップをいれてほしい。
- 外国人はこの番組が放送されていることを知っているか。もっと浸透させるべきだ。
⇒課題のひとつではある。現段階では、外国人からの反応がない。見てもらわなければ意味がないので、国際交流協会にも相談をしながら、PRの手法を探りながらやりたい。実際に生活している外国人の意見を参考に番組を作れば、どういった情報がほしいか探ることができる。その人のネットワークを通じて告知することもできる。
また、現状は、既存の番組を英語翻訳しているため、市民が参加する場面はない。具体的な日程は未定だが、実際に外国人が携わるように番組を作っていきたいと考えている。

●国際交流協会の人には番組を見ているか

⇒ジョインには、番組が始まるということは話してある。見てもらえるよう案内出す。

- こういったニーズがあるか、調査する必要がある。日本語番組に英語のテロップをつけるデータ放送のように対応できるのではないか。英語勉強のための番組か、外国人に情報を伝えるのか。番組コンセプトがはっきりしないと、どっちつかず。情報伝えるだけであれば、わざわざ番組1枠作らなくてもいいのではないか、という考え方もある。

議事録作成者： 業務本部放送部 新野 士郎